

平成 30 年度活動目標取組状況

活動目標	取組状況
(1) 市民のニーズや地域の課題に対応したレファレンス・サービス（情報提供等）の実施	・専用レファレンスカウンターにてレファレンスの充実を図った。書名の検索から書架への案内、書籍やインターネットを利用しての調査まで含め、細やかな対応を行った。 レファレンス件数 4, 178件
(2) 郷土・行政資料の収集・保存、利用者への情報提供実施	・関係団体等に協力を呼びかけ、郷土・行政資料を収集、情報提供した。 収集資料172冊 ・館内に情報提供ラックを設け、他課と連携し、市主催事業等の情報提供を行うと共に、関連する図書資料の紹介を実施した。 情報提供ラック件数22件
(3)「第3次古賀市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、家庭・地域、読書ボランティア団体、学校等と連携した読書活動の推進	・第3次古賀市子ども読書活動推進計画に基づき、各事業を行った。 「子ども読書の日イベント」参加者107人 「おはなし会スペシャル」1回参加者80人 「小さい子のおはなし会」12回参加者203人 「どうようおはなし会」47回参加者1,108人 「赤ちゃんおはなし会」24回参加者427人 「ブックスタート」12回参加者620人 「セカンドブック」引換率91%（525人/577人中） 「中学生読書サポーター養成講座」3回参加者10人
(4) 読書講座、読書ボランティア養成講座、図書館まつり等の講座や行事の実施 詳細は、資料②の通り	・チラシや広報、ホームページ等で募集を行い、実施した。 「布の絵本づくり講座」4回参加者45人 「図書館まつり」イベント参加者660人 「読書講座」1回参加者34人 「暮らしの講座」2回参加者106人
(5) 福岡県内各公共図書館等及び国立国会図書館との総合ネットワークの活用	・公共図書館による相互貸借を活用した。 貸出冊数 2,070冊、借受冊数 1,191冊 ・研究論文資料複写の依頼等、国立国会図書館との総合ネットワークの活用をした。
(6) 学校図書館における市民開放用一般書の配本及び読書ノートの配布等による読書活動支援	・学校図書館市民開放用一般図書の配本を実施した。 市内小中学校11校 各校10回 2,974冊 ・新小学1年生へ「読書ノート」を配布した。 約600冊 ・市内8小学校の親子読書会活動の推進及び「読書のつどい」等を実施した。 「第50回古賀市親子読書のつどい」参加者250人 ・学校司書おすすめの本コーナーを市立図書館に設置